



通信

HP 学校だより
R6.1.25
NO.36
文責 伊藤美佳



かかわり合う とよさかっ子

最近、とよさかっ子がかかわり合っている場面を多く見ます。

代表委員会が2学期末に全校のみんなに「やりたいこと」を募集しました。様々な案が出されたそうです。その中で多数応募があり、代表委員会の子たちで決めた案は、お笑いの発表会でした。(会の名前は検討中) 3学期の始めから出場者を募集し、ネタ作りの説明会を実施しました。今週は、各チームのネタ見せをすることになっていました。代表委員会の子どもたちがネタを見て、「このせりふは、こういう言い方をしてみたら」「ここは、もっと大きな声で言ってみたら」など、アドバイスする姿が見られました。見てもらった出場者も、うなずきながら聞き、共にネタ作りをしている様子がほほえましかったです。6年生の出場するチームは、低学年の子たちのネタを見てくれており、「すごく声が大きくてよかったよ」と言ってあげていました。

また、先週の金曜日(19日)には、けん玉が得意な6年生がけん玉教室を開きました。1年生は、昔遊びの学びが始まったところで、こつを教えてもらったり、アドバイスをしてもらったりしたことで、ぐんぐん上達していきました。他の学年の子どもたちも、技を見せてもらって「すごい」「あんな技できるようになりたい」と目を輝かせていました。

26日(金)は、新1年生体験入学です。1年生の子どもたちが、遊び道具を一緒に作り、それで遊ぶ計画をたて、着々と準備しています。1年生の先輩として、新1年生を迎えようとする気持ちが表れており、とても頼もしいです。どんなかかわりあいが生まれるのかとても楽しみです。

これらの活動例は、ほんの一部です。様々なかかわり合いを通して、子どもたちが成長する姿を見られることは大きな喜びです。3学期には、どんどんこういった活動や学びの場が増え、子どもたちの心も体も成長していく姿をお家の方や地域の方々とも共有することができたらうれしいです。

「人は人とのかかわりの中で成長する」まさにその言葉どおりです。

本当にたくさんの「心」ありがとうございます

「被災地の方々のために」と代表委員会の子どもたちが、22日から26日まで「募金活動」を行いました。毎朝各クラスにまわって、募金を集めました。どのクラスもたくさんの「心」を届けてくれたと代表委員会の子どもたちが喜んでいました。ご協力ありがとうございました。

また、地域の方からも「子どもたちが募金をしていることを聞いたから」と募金していただきました。本当にありがとうございました。

いただいた募金は、幸田町から石川県の内灘町へお渡しし、被災地が必要としている活動に使っていただけることになっています。

1月25日までの募金総額

69,877円

